

哲学を学ぶ

課題やレポート等で『哲学を学ぶ』に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょうか。『哲学を学ぶ』を学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探すとき、こんなキーワードで探してみよう

哲学 、 思想 など

図書館にある資料の一例

参考図書 ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！1F 和参考書にある資料は貸出できませんので注意してください。

書 名 ・ 著 者 ・ 出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
『岩波 哲学・思想事典』、岩波書店、1998. 3	8 号館 3F 8 号館和参考書	103. 3/IT-S	10+0065593	総項目数約 4100、執筆陣は第一線で活躍中の専門家です。最新の研究成果を踏まえて、重要テーマを文化横断的に考察し、内容紹介だけでなく背景知識を含めて解説しています。哲学・思想を学ぶ上で必須の基本事典です。

入門書 ☆基礎を学んでみよう。

書 名 ・ 著 者 ・ 出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
『はじめての哲学』石井郁男、あすなろ書房、2016. 2	8 号館 4F 8 号館和図書	130. 0/II-H	10+0331876	14 人の哲学者の人生をたどりながら、その思想を学ぶ哲学の入門書です。〈世界観〉、〈認識論〉、〈方法論〉といった哲学の大切なテーマを汲み取るのに適した入門書です。
『哲学入門』バートランド・ラッセル（高村夏輝訳）、筑摩書房（ちくま学芸文庫）、2005. 3	8 号館 4F 8 号館和図書	133. 54/RB-T	10+0163434	本書は、「理性的な人なら誰にも疑えない、それほど確実な知識などあるのだろうか」という書き出しで始まります。1912 年に執筆されて以来、現在まで 23 カ国語に翻訳され、今日も読みつがれている哲学入門書です。日本語には複数回翻訳され、本書は新訳です。文字通り世界でもっとも読まれてきた哲学入門書の最高傑作、是非読んで下さい。

専門的な図書 ☆より深く学ぶにはこちらを読もう！

書 名 ・ 著 者 ・ 出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
『哲学入門』戸田山和久、筑摩書房（ちくま新書），2014. 3	8 号館 4F 8 号館和図書	100. 0/TK-T	10+0331877	タイトルは哲学入門となっていますが、内容を見るとかなり専門的です。著者は「これぞ本道だと思っている哲学、つまり科学の成果を正面から受け止め、科学的世界像のただなかで人間とは何かを考える哲学」に読者を誘いたいようです。現代科学をベースにした、現在進行形の哲学をわかりやすく（といっても、内容は少し難しいですが）学びたい人にお勧めです。
『哲学の歴史』全 12 巻+別巻、中央公論新社，2008. 2 ～	8 号館 4F 8 号館和図書	13. 2/TR-E/ 1～13	10+0212315 他	日本哲学界の総力をあげて編纂された、西洋哲学の全体像を描き出すシリーズです。現時点では最も網羅的な、各哲学者に焦点を当てた哲学史シリーズであると思います。
『はじめての分析哲学』大庭健、産業図書，1990. 8	8 号館 4F 8 号館和図書	116. 3/OT-H	10+0331878	本書は、分析哲学の入門書となっていますが、いわゆる早わかりふうに項目を網羅した入門書ではありません。〈分析哲学〉入門でありながら、その大半は、論理実証主義 vs プラグマティズムという論題にさかれています。現代の分析哲学は、もう一皮めくると全思想状況がひっくりかえるかもしれないような、重大な問題と格闘してもあります。